

令和7年度防災訓練計画書(案)

課名・対策名 健康支援課 医療救護対策

訓練日 11月16日(日)

参加予定人数 (職員)		参加氏名	災害医療本部員・応急救護所要員(市職員)、 習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、 習志野市アマチュア無線非常時通信連絡会の各会員、 習志野保健所職員	訓練会場	災害医療本部(GF ABC会議室) 各応急救護所4か所 (第一・二・七中、保健会館) 習志野保健所
----------------	--	------	--	------	--

目的	各応急救護所における設置・運営訓練、災害医療本部と各応急救護所(4か所)間の情報伝達訓練及び災害医療本部と習志野保健所間のEMIS入力訓練や備蓄医薬品、衛生材料の要請に係る訓練を実施し、各機関・各自の役割や課題の共有を図ることを目的とする。
----	--

到達目標	①応急救護所において、設営手順(場所・位置)や物品の扱い方(発電機・ライト・無線)、施設内にあるAED等使用物品が役割に関係なく確認・設営できる。 ②START法による一次トリアージの理解が深まり、応急救護所で協力し合いながら、的確なトリアージができる。 また、応急救護所において、トリアージ症例を通じ、傷病者受け入れ後の一連の流れを確認する。 ③災害医療本部と習志野保健所間ではEMISシステム(広域災害救急医療情報システム)の「研修・訓練1(都道府県、市区町村用)」を使用し、新システムの仕様に慣れ、迅速にEMISシステム入力・情報確認ができる。また、医薬品の供給要請の具体的な手続等を確認する。 ④災害医療本部・応急救護所との情報伝達訓練により、重傷者の搬送に至るまでの流れを確認する。 ⑤アクションカードを用いて各自の役割を認識し、その役割を担うことができる。
------	---

訓練想定	令和7年11月16日(日)午前9時00分に習志野市直下を震源とするM7. 3の地震が発生し、習志野市では震度6強を観測
------	---

時間	災害対策本部 (事務局) タイム スケジュール		訓練 項目	訓練 担当	訓練内容	使用する資機材等 (物資含む)	
						名称	使用数
前日 までに				各自	災害時に備えて、市担当者及び関係団体が各自の配置先を把握し、必要物品の準備。		
8:30				市職員	健康支援課集合。事前申し合せ事項確認し、各救護所へ出発。		
9:00	地震発生		参集訓練	各自	習志野市直下を震源とするM7. 3の地震が発生し、習志野市では震度6強を観測。 (各自1分間シェイクアウト)		
9:10	参集				市職員:現地集合 保健所職員:保健所集合 (9:10に参集完了) (9:10)緊急メール登録者へ訓練メール送付		
9:10～ 10:10	情報 収集 ・ 集計 作業		災害医 療本 部設 置・ 応急 救護 所設 置訓 練	災害医療本部担当	・職員及び関係機関の参集状況を把握。 ・自動参集後、災害医療本部担当職員、担当スタッフとともに、直ちに災害医療本部設置準備。 ・健康支援課脇倉庫から必要物品を災害医療本部に運ぶ。 ・無線の設営を優先し、並行して各役割分担を決定。 ・災害医療本部設置。 ・応急救護所の設置状況を収集(無線・EMIS等) ・病院の被災状況を情報収集し保健所へ連絡(電話・FAX)	無線機器 ホワイトボード どこでもシート 市内地図 ヘルメット 防災ベスト 医療本部消耗品ボックス	一式 4 1 2 人数分
				災害医療本部担当 習志野保健所	・EMIS「研修・訓練1(都道府県、市区町村用)」にて、災害医療本部は応急救護所情報を、保健所は各医療機関の情報を入力する。また医療本部の画面にて他機関の被災状況や受け入れ状況の確認を行う。	(災害医療本部) パソコン・ケーブル 大型テレビ(GF会議室用) 接続ケーブル	2セット
				地区対 策支 部・ 避難 所と の情 報連 絡連 携	応急救護所担当	・職員及び関係機関の参集状況を確認。 ・自動参集後、各応急救護所担当職員・担当スタッフとともに、直ちに各応急救護所設置準備。 ・防災倉庫の鍵位置を全員で確認し、倉庫・保健室から必要物品を応急救護所に運ぶ。あわせて有事の際使用が想定される学校内のAED・担架の場所を確認。 ・停電のため発電機を起動し、バルーンライトを点灯。 ・無線の設営を優先し、並行して各役割分担を決定。 ・応急救護所を設置 ・参集状況や応急救護所の状況報告(ライフラインや周辺状況)を連絡シートを基に災害医療本部へ報告。 ・災害物品・医薬材料備蓄品の確認。	無線機器 発電機 カセットボンベ バルーンライト ホワイトボード 机、椅子 どこでもシート 救護所医薬品・消耗品ボッ クス ヘルメット 防災ベスト
10:10 ～ 12:00		傷病者 受け 開始	無線 訓練 ・ 訓練	・・・・ 習志野市医師会 災害医療本部 習志野市保健医療部 無線医療 非常会 応急救護所 薬剤師会 会	災害医療本部、各応急救護所(4か所)及び保健所の合計6か所にて仮想のミッションを付与。 ①応急救護所では、トリアージ訓練及び傷病者受入からその後の具体的な流れと各自役割を確認。 (一連の流れを確認の後、アクションカードを用いてより本番に近い訓練を行う。) ②無線を使用し、症例を通して、傷病者の受け入れや搬送依頼・準備、人員物品等の要求等を行う情報伝達訓練を行う。方法としては音声・画像伝送等、情報量や内容、その時の状況に応じて手段・伝達内容を検討。 ③災害医療本部で仮想ミッションに対応。 ・傷病者搬送手段の確保 ・発電機・医薬品・衛生材料の確保及び県に医薬品の供給要請。 ・医療スタッフ人員要望 ・受援者受け入れ(DMAT、医療チーム) ・応急救護所からの医薬品要請受け県へ供給要請し、習志野保健所へ受け取りに行く	トリアージタグ 情報記録票 傷病者一覧 トリアージ搬送依頼リスト 災害時診療録	
12:00 ～ 12:30	撤収作業				撤収作業 反省会 解散	反省会記録用紙	